

令和4年度

事業報告書

公益財団法人 沖縄県畜産振興公社

令和4年度 事業報告

自：令和4年4月1日

至：令和5年3月31日

1 事業内容

〈総括〉

令和4年度の県内における肉用牛や豚枝肉の価格情勢については、肉用子牛の取引頭数が25,247頭で、前年度25,050頭を上回ったが、平均取引価格は約596千円で、前年度の690千円を下回った。また、豚枝肉の平均卸売価格は、531円/kgと前年度の485円/kgを上回り、安定的に価格が推移したことから、9か年連続で補てん金の発動はなかった。一方、肥育牛については、令和5年1月に補てん金交付があり、6か年連続の発動が続いている。

本県の令和3年農業産出額は922億円で、前年に比べ12億円(1.3%)増加した。畜産部門については420億円で、前年に比べ23億円(5.8%)増加となった。農業産出額の品目別では、肉用牛は209億円で、前年に比べ11億円(5.6%)増加し第1位を維持した。豚は114億円で、前年に比べ1億円(0.9%)減少したが第3位を維持している。また、鶏卵は44億円で、前年に比べ12億円(37.5%)の増加、生乳は36億円で前年から増減はなかった。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により観光産業、外食産業を中心に落ち込んだ需要回復の兆しが見え始めてきたが、飼料価格の高止まりや、過去に類をみない原油価格の高騰が続き、畜産経営の収益性は依然と厳しい状況である。また、高病原性鳥インフルエンザ発生による殺処分対象が国内で最多となり、令和4年12月には今まで発生のなかった沖縄県においても1農場で初めて確認され、養鶏産業に深刻な影響を与えた。

公社独自の取り組みとしては、新型コロナウイルス感染症による需要減少に対する畜産物の消費促進の取り組みとして、県ホテル協会と連携した「TASTE OKINAWA 県産和牛フェア」を昨年度に引き続き実施した。

さらに、3年ぶりに「おきなわ花と食のフェスティバル2023」が開催されることとなり、毎年実施している「まーさん市場」を出店し、県産食肉及び加工品の試食・販売、畜産情報発信コーナーの設置により県産食肉等の消費拡大に努めた。

事業部門においては、令和4年度も、国、県及び独立行政法人農畜産業振興機構等による支援の下、肉用牛対策、養豚対策及び消費拡大対策等の事業を積極的に実施してきた。

事業別内訳をみると、「1 家畜・畜産物の価格安定事業」の事業費は 152,658 千円であった。子牛取引価格は下落傾向にあるが、肉用子牛生産者補給金制度の補給金の交付はなかった。一方、肉用牛肥育経営安定交付金制度は、肉専用種で交付があり交付額は 683 千円であった。肉豚経営安定交付金制度は積立金支出で 118,772 千円、その他推進事業費で 33,203 千円であった。

「2 家畜・畜産物の改良及び需給調整事業」の事業費は、県産農林水産物輸出体制構築事業 10,768 千円、家畜改良促進事業のうち全国畜産共進協議会負担金 2,000 千円、沖縄県畜産共進会協議会負担金 1,500 千円であった。畜産物需給総合調整事業では、県産食肉等消費促進支援事業による「うちなーいい肉の日」等のイベントの開催や県農林水産物販売促進協議会等負担金支出など 17,611 千円を行い、その事業費計は 31,879 千円であった。

「3 地域・畜産業振興総合対策に関する公社事業」の事業費は、5,234 千円であった。離島地域の食肉センターに対する経営改善への取り組みを支援する離島地域畜産活性化整備事業フォローアップ事業 936 千円、地域・畜種毎の課題解決に向けた新たな取り組みに支援する地域・畜産業振興施策スタートアップ事業 4,298 千円であった。

「4 畜産経営体の経営安定、生産技術の向上及び家畜防疫に関する事業」の事業費は 436,072 千円であった。子牛価格の下落に伴い優良肉用子牛生産推進緊急対策事業においては、9 月及び 10 月が基準価格を下回ったことから、当該月に出荷した補給金制度加入者に対し 67,120 千円の奨励金の発動があった。その他の主な事業については、農畜産業振興機構からの補助事業として、家畜市場の活性化を図るための購買者に対する購買助成、肉用牛ヘルパー利用組合等の活動経費に対する助成等の沖縄県肉用牛経営安定対策補完事業 334,244 千円及び畜産特別資金借受者への推進指導事業である畜産特別資金推進指導事業 1,756 千円を実施した。

また、受託事業として、(公社)中央畜産会から畜産クラスター関連事業の畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 3,606 千円、沖縄県から県産肥育牛ブランド力強化事業 11,393 千円、県内畜産経営体の経営診断分析や経営及び生産技術の高度化を図るための支援指導事業である畜産経営技術改善指導事業 2,771 千円を実施した。

< 事業別概要 >

1. 家畜・畜産物の価格安定事業

(1) 肉用子牛生産者補給金制度

1) 肉用子牛生産者補給交付金

0 円

肉用子牛生産安定等特別措置法に基づいて、肉用子牛の価格が保証基準価格（黒毛和種 541,000 円、乳用種 164,000 円、交雑種 274,000 円）を下回った場合に肉用子牛の生産農家に対し生産者補給金を交付すること等により、肉用子牛の生産及び価格の安定を図りもって肉用牛経営の健全な発展に資するための事業である。

令和 4 年度は、黒毛和種、乳用種、交雑種について、平均売買価格が保証基準価格を上回ったため、補給金の交付には至らなかった。

なお、肉用子牛の 1 月から 12 月までの個体登録頭数は、黒毛和種は 24,132 頭、乳用種は 18 頭、交雑種は 224 頭、合計 24,374 頭となっている。

事業の実績は、下記のとおりである。

ア 生産者補給金交付契約締結状況

(単位：戸)

契約区分	繁殖	酪農	一貫	哺育	合計
個人	2,013		8		2,020
農協					
農協連					
農事組合法人	2				2
株式会社	32		1		33
有限・合名・合資会社	33		3		36
民法法人					
合計	2,080		12		2,092

イ 事務委託先契約締結状況

(単位：件)

事務委託先	事務委託先数	備考
総合農協	1	(支所等 13カ所)
専門農協		
農協連		
その他		
合計	1	

※ () 番号は、事業一覧の事業番号を記載している。

ウ 契約肉用子牛個体登録頭数の内訳

(単位：頭)

区分 品種区分	令和4年 1月1日～ 3月31日	令和4年 4月1日～ 6月30日	令和4年 7月1日～ 9月30日	令和4年 10月1日～ 12月31日	令和4年 1月～12月 合計
黒毛和種	6,140	5,958	5,934	6,100	24,132
乳用種	15	3	0	0	18
乳交雑種	77	86	51	10	224
合計	6,232	6,047	5,985	6,110	24,374

エ 保証基準価格と合理化目標価格

(単位：円)

品種区分	保証基準価格	合理化目標価格	備考
黒毛和種	541,000	429,000	
褐毛和種	498,000	395,000	
その他の肉専用種	320,000	253,000	
乳用種	164,000	110,000	
乳交雑種	274,000	216,000	

オ 指定肉用子牛の規格

肉用子牛の種別	体 重	
黒毛和種	250キログラム以上	320キログラム以下
褐毛和種	260キログラム以上	330キログラム以下
無角和種	200キログラム以上	270キログラム以下
日本短角種	200キログラム以上	280キログラム以下
アンガス種及びヘレフォード種	260キログラム以上	310キログラム以下
ホルスタイン種（雌を除く）	250キログラム以上	330キログラム以下
ホルスタイン種を母とする交雑種	260キログラム以上	320キログラム以下

カ 平均売買価格

(単位：円)

区 分	品種区分				
	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	乳交雑種
令和4年1月1日～3月31日	730,200	589,500	—	231,200	324,400
令和4年4月1日～6月30日	668,500	553,100	—	210,000	293,300
令和4年7月1日～9月30日	605,400	536,800	—	149,500	275,400
令和4年10月1日～12月31日	614,000	534,100	252,300	127,400	301,400

※平均売買価格は、農林水産大臣の指定する家畜市場における指定肉用子牛の四半期毎の平均価格

※「その他肉専用種」については、令和2年度から算定期間を1年（4月～3月）としている。

キ 生産者積立金造成内訳

品 種	区 分	契 約 頭 数	積 立 単 価	積 立 所 要 額	負 担 区 分		
					農 畜 産 業 振 興 機 構	沖 縄 県	生 産 者
		頭		円	円	円	円
黒毛和種	1～12月	24,132	1,600	38,611,200	19,305,600	9,652,800	9,652,800
乳用種	1～12月	18	6,800	122,400	61,200	30,600	30,600
乳交雑種	1～12月	224	3,200	716,800	358,400	179,200	179,200
合 計		24,374	—	39,450,400	19,725,200	9,862,600	9,862,600

参 考

1. 負担区分： 機構 1/2, 県 1/4, 契約生産者 1/4
2. 契約生産者の1頭あたり積立金額：

区 分	負 担 金		備 考
	令和4年1月～令和4年12月		
黒 毛 和 種	400円		
乳 用 種	1,700円		
乳 交 雑 種	800円		

ク. 生産者積立金及び生産者積立準備金造成状況

(単位：円)

区 分		保証基準価格の品種区分			合 計			
		黒 毛 和 種	乳用種	乳交雑種				
I 期 首 残 額	1 生産者積立金		72,680,266	108,000	1,182,400	73,970,666		
	2 生産者積立準備金					467,902,182		
	内	3 生産者の負担金充当分					185,044,218	
		4 都道府県の生産者積立助成金充当分					282,857,964	
		5 農畜産業振興機構の生産者積立助成金充当分					0	
II 生 産 者 積 立 金 積 立 実 績	6 生産者積立金純増加額 (9+12+15+18)		25,146,800	91,800	537,600	25,776,200		
	7 生産者積立準備金からの繰入額 (10+13+16)		13,464,400	30,600	179,200	13,674,200		
	8 計		38,611,200	122,400	716,800	39,450,400		
	内	9 負 担 金		5,841,200	30,600	179,200	6,051,000	
		生産者	10 生産者積立準備金3からの繰入額		3,811,600	0	0	3,811,600
			11 小 計		9,652,800	30,600	179,200	9,862,600
	都道府県	12 生産者積立助成金		0	0	0	0	
		13 生産者積立準備金4からの繰入額		9,652,800	30,600	179,200	9,862,600	
		14 小 計		9,652,800	30,600	179,200	9,862,600	
	機 構	15 生産者積立助成金		19,305,600	61,200	358,400	19,725,200	
		16 生産者積立準備金5からの繰入額		0	0	0	0	
		17 小 計		19,305,600	61,200	358,400	19,725,200	
		18 生産者積立金とすることを指定して寄付又は補助された財産					0	
III 他 の 資 金 か ら の 繰 入 状 況	19 特別の積立金から生産者積立金への繰入額					0		
	20 調整積立金から生産者積立金への繰入額					0		
	21 生産者補給金に充てるための全国協会等からの借入金額					0		
	22 生産者積立金に係わる運用果実		1,753			1,753		
	23 償還円滑化積立金から生産者積立金への繰入額					0		
	24 生産者補給金交付額21を含む					0		
	25 生産者積立金からの借入金返済額					0		
	26 その他資金からの繰入による借入金返済額 (ほか債務減免額)					0		
	27 生産者積立金から生産者積立準備金への繰入額					0		
	28 生産者積立準備金に係わる運用果実					4,614		
	29 生産者積立準備金から償還円滑化積立金への繰入額					0		
	30 生産者積立準備金からの返還額 (生産者分)					0		
31 生産者積立準備金からの返還額 (都道府県分)					0			
32 生産者積立準備金からの返還額 (機構分)					0			
IV 期 末 残 額	33 生産者積立金 (1+8+19+20+21+22+23-24-25-26-27)		111,293,219	230,400	1,899,200	113,422,819		
	33 生産者積立準備金 (2-7+27+28-29-30-31-32)					454,232,596		
	内	35 生産者の負担金充当分					181,234,443	
		36 都道府県の生産者積立助成金充当分					272,998,153	
	記	37 農畜産業振興機構の生産者積立助成金充当分					0	

ケ. 特別の積立金造成状況

(ア) 特別の積立金（黒毛和種）

(単位：円)

区 分		黒毛和種	乳用種	乳交雑種	計	備 考
期 首 残 高		0	—	—	0	
増	積 立 金	0	—	—	0	
	運 用 益	0	—	—	0	
加 小 計		0	—	—	0	
減	価格安定事業勘定へ繰入	0	—	—	0	
	小 計	0	—	—	0	
期 末 残 高		0	—	—	0	

(イ) 特別の積立金（乳用種）

(単位：円)

区 分		黒毛和種	乳用種	乳交雑種	計	備 考
期 首 残 高		—	1,382,701	—	1,382,701	
増	積 立 金	—	0	—	0	
	運 用 益	—	0	—	0	
加 小 計		—	0	—	0	
減	償還円滑化積立金へ繰入	—	0	—	0	
	小 計	—	0	—	0	
期 末 残 高		—	1,382,701	—	1,382,701	

コ. 償還円滑化積立金の造成状況

(単位：円)

区 分	令和4年度				備 考
	黒毛和種	乳用種	乳交雑種	計	
期首の借入金残額		—	0	—	0
期首の償還円滑化積立金の残高		—	5,194	—	5,194
積 償 立 還 金 円 実 滑 績 化	機 構	—	0	—	0
	都道府県	—	0	—	0
	生産者	—	0	—	0
	生産者団体	—	0	—	0
合 計		—	0	—	0
全国協会への償還額		—	0	—	0
運 用 益		—	0	—	0
当 期 借 入 金		—	0	—	0
期末償還円滑化積立金の残高		—	5,194	—	5,194
期末の借入金残高		—	0	—	0

サ. 生産者補給交付金交付状況

(単位 : 円、頭、人)

区 分		保証基準価格の品種区分		黒毛和種	乳用種	乳交雑種	合 計
令和3 年度 半 期	第4 期 1月1日 ～	令和4年 交付対象 頭 数	販売	0	0	0	0
			保 留	0	0	0	0
		① 合 計	0	0	0	0	
	令和4年 3月31日	② 生産者補給金単価		0	0	0	
		③ 生産者補給金交付額 (①×②)		0	0	0	0
		交付対象生産者数		0	0	0	0
令和4 年度 半 期	第1 期 4月1日 ～	令和4年 交付対象 頭 数	販売	0	0	0	0
			保 留	0	0	0	0
		① 合 計	0	0	0	0	
	令和4年 6月30日	② 生産者補給金単価		0	0	0	
		③ 生産者補給金交付額 (①×②)		0	0	0	0
		交付対象生産者数		0	0	0	0
令和4 年度 半 期	第2 期 7月1日 ～	令和4年 交付対象 頭 数	販売	0	0	0	0
			保 留	0	0	0	0
		① 合 計	0	0	0	0	
	令和4年 9月30日	② 生産者補給金単価		0	0	0	
		③ 生産者補給金交付額 (①×②)		0	0	0	0
		交付対象生産者数		0	0	0	0
令和4 年度 半 期	第3 期 10月1日 ～	令和4年 交付対象 頭 数	販売	0	0	0	0
			保 留	0	0	0	0
		① 合 計	0	0	0	0	
	令和4年 12月31日	② 生産者補給金単価		0	0	0	
		③ 生産者補給金交付額 (①×②)		0	0	0	0
		交付対象生産者数		0	0	0	0
合 計		交付対象 頭 数	販売	0	0	0	0
			保 留	0	0	0	0
		① 合 計	0	0	0	0	
		②生産者補給金単価(平均)		—	—	—	
		③生産者補給金交付額 (①×②)		0	0	0	0
交付対象生産者数 (のべ)		0	0	0	0		

2) 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業 27,222,888 円

ア 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業 20,982,548 円

当制度に係わる業務の適正な実施等を図るため、全国統一電算事務処理システムによる業務の充実と、事務委託先との対象子牛の個体登録、個体識別及び保留確認等の業務の委託契約により適正かつ円滑な実施に努めた。

また、肉用子牛生産者補給金制度の適正な実施体制の確保を図るため、事務委託先に対し調査指導を行った。

イ 指定協会運営体制支援事業 5,489,410 円

肉用子牛生産者補給金制度の円滑な実施体制の確保を図るため、農畜産業振興機構より財政支援を得て運営体制の強化を図った。

(2) 沖縄県和牛子牛価格安定特別対策事業

0 円

県内の肉用子牛価格の低迷を緩和するため、規格雌子牛（黒毛和種）の標準取引価格が、公社の定めた保証基準価格を下回った時に生産農家に補てん金を交付し、肉用牛繁殖農家の経営安定に資するための事業である。

令和4年は、全期間を通じて、標準取引価格が保証基準価格を上回って推移したため、補てん金の発動はなかった。

○令和4年の取引状況

(単位：円)

区 分			沖縄県和牛子牛価格安定特別対策事業に係る規格子牛価格と補てん金単価				
年度	品種区分	月 別	県内指定 市場雌雄 平均価格	標準取引 規格雌子 牛価格A	保証基準 規格雌子 牛価格B	差額 C=B-A	補てん単価 D=C×0.9
令 和 4 年 度	黒 毛 和 種	1 月	724,350	665,739			
		2 月	704,103	646,846			
		3 月	698,812	636,376			
		前年度 第4四半期	696,510	619,039	477,000		0
		4 月	714,572	658,276			
		5 月	667,742	615,626			
		6 月	617,575	583,803			
		第1四半期	663,766	594,274	477,000		0
		7 月	606,481	561,188			
		8 月	574,691	530,424			
		9 月	545,560	519,943			
		第2四半期	576,021	537,355	477,000		0
		10 月	571,897	545,185			
		11 月	573,091	545,829			
		12 月	636,652	612,917			
		第3四半期	592,679	565,854	477,000		0

○保証基準価格：平成31年4月から477,000円。

○標準取引価格：指定家畜市場（南部、伊江村、宮古、八重山、今帰仁、黒島）の雌規格子牛価格の加重平均を移行。

○規格子牛：体重250kg以上～320kg以下 日齢12ヶ月未満 品種黒毛和種

○補填単価の算定は4半期毎のため、毎月の平均価格等は参考

○価格は税込み

(3) 肉用牛肥育経営安定交付金制度

肉用牛肥育経営は、素牛の導入から肥育牛の出荷まで一定期間を要し、かつ、生産費用に占める素畜費の割合が大きいことから、素牛価格と枝肉価格の水準によって経営収支の悪化が懸念される。

本制度は、肉用牛肥育経営安定基金を設け、肥育経営の収益性が悪化した時に肥育牛補填金を交付することにより肉用牛肥育経営の安定を図り、肉用牛生産基盤の拡大に資することを目的に実施した。

ア 令和4年度肉用牛肥育経営安定交付金制度

(令和4年4月～令和5年3月) 契約生産者農家数 35 戸
肥育牛積立頭数 3,425 頭
基金造成額 34,251,125 円
(生産者 32,744,125 円、沖縄県 1,507,000 円)

補填金交付実績 683,616円

区分	品種区分	支払区分	交付対象		肥育牛補填金	
			人数(人)	頭数(頭)	単価(円/頭)	交付額(円)
5年1月販売	肉専用種	概算払	18	152	4,497	683,616
合計			18	152		683,616

イ 肉用牛肥育経営安定交付金制度(業務委託費) 5,981,000円

令和4年度(令和4年4月～令和5年3月)肉用牛肥育経営安定交付金制度の円滑な推進を図るため、推進会議等を開催するとともに、調査及び指導、事業の普及・啓発活動、肥育牛の個体登録・販売等の事務を推進した。

(4) 肉豚経営安定交付金制度

118,772,000 円

肉豚経営安定交付金制度は、独立行政法人農畜産業振興機構の事業で平成30年12月30日から畜産経営に関する法律制度に移行、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に肉豚の生産者に対し、その差額の9割を交付金として交付することにより、肉豚生産者の経営を及ぼす影響を緩和することを目的とする制度である。

なお、令和4年度については、各半期ごと標準的販売価格が上回った為、補填金の交付はなかった。

月別	対象頭数	補填金		負担金単価 (円/頭)			負担金総計
		単価	補填金額	生産者 316円	県 29円	公社 55円	
1四半期	71,580	0	0	22,619,280	2,075,820	3,936,900	28,632,000
2四半期	73,263		0	23,151,108	2,124,627	4,029,465	29,305,200
3四半期	76,633		0	24,216,028	2,222,357	4,214,815	30,653,200
4四半期	75,454		0	23,843,464	2,188,166	4,149,970	30,181,600
合計	296,930		0	93,829,880	8,610,970	16,331,150	118,772,000

肉豚経営安定交付金制度年度別実績の推移

県内における肉豚生産量は、と畜頭数311,692（対前年比99.53%）と前年度を下回った。

年度	肉豚経営安定交付金制度			と畜実績		
	補てん頭数 (頭)	補てん金額 (千円)	補てん単価/ 頭 (円/頭)	と畜頭数 (頭)	枝肉重量 (kg)	平均枝重 (kg/頭)
15	142,954	336,714	2,355	374,173	29,402,953	78.6
16	55,447	93,351	1,684	356,504	27,459,733	77.0
17	38,712	30,894	798	324,134	25,096,838	77.4
18	32,789	18,869	575	326,613	25,265,363	77.4
19	0	0	0	325,003	24,635,753	75.8
20	161,786	258,772	1,599	324,269	24,614,715	75.9
21	301,088	461,490	1,533	354,268	27,290,602	77.0
22	312,963	258,017	824	366,349	28,856,058	78.8
23	329,767	447,919	1,358	353,315	28,201,328	79.8
24	322,041	788,454	2,448	350,824	28,573,869	81.4
25	0	0	0	332,258	26,713,543	80.4
26	0	0	0	310,833	24,680,140	79.4
27	0	0	0	312,107		
28	0	0	0	316,268		
29	0	0	0	331,481		
30	0	0	0	337,175		
元	0	0	0	318,968		
2	0	0	0	313,636		
3	0	0	0	313,146		
4	0	0	0	311,692		
合計	1,697,547	2,694,480	1,587	6,653,016	320,790,895	78.2

*と畜実績は与那国を含まない。平成27年度より枝肉重量データは、廃止とした。

- * 昭和62年度～平成12年度：豚価安定対策事業
- * 平成13年度～平成19年度：肉豚価格安定対策事業（地域肉豚生産安定基金造成事業）
- * 平成20年度～平成21年度：肉豚価格安定対策事業（肉豚価格差補てん緊急支援特別対策事業）
- * 平成22年度～平成30年度：養豚経営安定対策事業
- * 令和元年度～令和5年度：肉豚経営安定交付金制度

2. 家畜・畜産物の改良及び需給調整、消費促進に関する事業 (公社単独事業)

(5) 県産農林水産物輸出体制構築事業 10,768,223 円

県産畜産物の輸出量拡大を推進するため、豚肉や牛肉、鶏肉、鶏卵、県産食肉を使用した加工品等の定番化に向けた継続的な販促活動及び販路拡大のための新規市場調査を実施した。

- ・香港（10件）：店舗等プロモーション、現地視察・商談等
- ・ベトナム（1件）：飲食店内販促プロモーション、現地視察
- ・マカオ（1件）：店舗内プロモーション
- ・タイ（1件）：新たに輸出に取り組む生産者支援、現地視察

(6) 家畜改良促進事業 3,500,000 円

1) 全国畜産共進会協議会負担金 2,000,000 円
5年ごとの祭典である全国和牛能力共進会に本県から出品するための協議会への負担金

2) 沖縄県畜産共進会協議会負担金 1,500,000 円
沖縄県畜産共進会協議会が行う沖縄県畜産共進会開催のための協議会への負担金

(7) 畜産物需給総合調整事業 17,611,443 円

1) 県産食肉等消費促進対策事業 14,751,443 円

県産畜産物の消費拡大、販売促進等を目的とした広報宣伝、畜産物PR、その他販売促進活動（催事）等を実施。「まーさんシール」の作成や「まーさん市場」、「TASTE OKINAWA県産和牛フェア」開催するなど、県産畜産物の消費拡大を図った。

〔主な販促活動内容〕

- ・子ども食堂への県産畜産物寄贈 238,013 円
子ども達の明るい未来作りと今後の畜産業界の発展のため、子ども食堂への県産畜産物を寄贈する取組を支援した。
- ・婦人の主張大会への鶏卵提供 125,180 円
県産畜産物の認知度向上と消費促進を図り、新型コロナウイルスのまん延や飼料価格高騰の影響を受けた生産者を支援するため、沖縄県婦人の主張大会において参加者へ鶏卵を配布し、理解を求めた。
- ・TASTE OKINAWA 県産和牛フェア 5,668,350 円
県産和牛肉の新たな魅力発信と地元食材を通じた沖縄観光PRのため、沖縄県ホテル協会と連携し、県内ホテルにおいて、沖縄観光PRと県産和牛メニューを取り入れたフェアを実施した。
実施期間：令和5年2月1日～令和5年2月28日
開催場所：11ホテル（沖縄県ホテル協会加盟）
提供数量：2,937kg
- ・「まーさん市場」（おきなわ花と食フェスティバル2023） 7,000,000 円
開催期日：令和5年1月21日～令和5年1月22日
開催場所：奥武山総合運動公園
出展団体：10団体（牛肉、豚肉、鶏肉、牛乳、畜産物加工品）
主な内容：「おきなわ花と食のフェスティバル2023」内にて、畜産ブース「まーさん市場」として、県産食肉及び加工品の試食・販売、畜産情報発信コーナーにて、パネル展示・クイズゲームを実施した。
- ・その他 1,719,900 円
 - ・まーさんロゴシール印刷 4,000,000枚 (961,400)
 - ・「まーさん印」商標登録更新 (112,500)
 - ・まーさん法被 20着 (220,000)
 - ・まーさん豚ロゴシール制作 2,000枚 (198,000)
 - ・協賛広告（琉球協同飼料60周年、沖縄畜産研究会誌57号、新春広告） (228,000)

2) 沖縄県農林水産物販売促進協議会等負担金 2,860,000 円

沖縄県産農林水産物の消費・需要の拡大及び生産振興を図ることを目的として設立された沖縄県農林水産物販売促進協議会及び沖縄県産食肉等消費拡大推進協議会に対する負担金等。

3. 地域・畜産業振興総合対策に関する公社事業

(8) 離島地域畜産活性化施設整備事業フォローアップ事業 936,390円

公社が実施した離島畜産活性化施設整備事業で整備した食肉センターの運営について、経営改善等の対策が必要なことから、市町村や農協の地域関係機関等が連携し経営体質の強化を図るために必要な各種取組に対して支援を実施する。令和4年度は、株式会社宮古食肉センターを事業実施主体として事業を実施した。

1. 運営体制基盤確立対策事業 470,665円
2. 専門技術者育成支援 465,725円

(9) 地域・畜産業振興施策スタートアップ事業 4,298,377円

島嶼県である本県にあっては、地域または地域内の畜種毎に異なる課題を抱えていることから、地域内の生産者および関係機関等が課題解決のため連携して実施するモデル的な取組に対して支援を実施する。

令和4年度事業対象一覧

(1. 畜産活性化対策事業（地域・畜種））

事業実施主体	対象課題	実施内容	助成費
与那国町畜産振興推進協議会	水運搬に関する機材の導入、配水体制の構築による労働負担軽減	協議会を設立し、配水体制の整備を実施。労働負担軽減のため農家7戸へ11基のタンク導入を決定した。	114,675
	優良草種であるトランスバーラー種苗圃の確保	トランスバーラー種苗圃（1.05ha）の整備を実施	1,992,608
久米島家畜人工授精師連絡協議会	人工授精業務の適正化および業務負担軽減	人工授精業務の適正化・スマート化のためタブレット及び携帯プリンターを導入した。	613,600
沖縄県農業協同組合中央会	本県養鶏関係者が各々経営構造を理解し、経営体質強化のための取組むべき事項を確認する。	生産現場、販売流通、関係事業者へのヒアリングとアンケート調査を実施。その結果から、本県採卵養鶏産業が抱える総合的課題に対し、今後取組むべき共同事業の必要性を関係者間で共有できた。	183,187
沖縄県農業協同組合	宮古地区の養豚生産者の飼養管理向上による生産性の増加	養豚専門指導員による定期的な飼養管理技術指導を実施した。	161,100
合計			3,065,170

(2. 畜産振興対策)

令和4年度実施なし

(3. 販売流通促進対策)

事業実施主体	対象課題	実施内容	助成費
沖縄県養豚振興協議会	県産養豚の認知度向上、県産豚肉の消費拡大	豚をテーマとした催事に出展し、県産豚肉試食提供、パネル展示やアンケート等を実施した。	471,365
J A石垣牛肥育部会	「石垣牛」の販売促進、一般消費者への周知普及	「石垣牛」空港看板広告、ラジオ広告を実施し、一般消費者等への周知普及を図った。	761,318
小計			1,232,683
(公社負担)	通信運搬費		524
合計			1,233,207

4. 畜産経営体の経営安定、生産技術の向上及び家畜防疫に関する事業

(10) 沖縄県肉用牛経営安定対策補完事業

334,244,942 円

機構補助金 (334,244,942円)

本県の肉用牛は、農業の基幹部門として極めて重要な作目となっているが、その生産の主体は本県の離島地域における子牛生産および域外供給となっている。そのため、島嶼性からくる生産不利条件の緩和を図る必要があるとともに、近年の生産者の高齢化や担い手不足に対処することで、安定的な肉用牛経営の実現を図るための事業である。

ア 事業内容

①中核的担い手育成増頭推進

地域の中核的担い手が計画的に優良な繁殖雌牛を増頭した増頭実績に応じた奨励金を交付する。

②優良繁殖雌牛導入支援

地域の改良に必要な優良繁殖雌牛の導入を通じて地域の改良基盤を維持するため、導入計画に基づき生産者集団等が雌牛を導入し、農業者等に一定期間貸し付けする場合に奨励金を交付する。

③遺伝的多様性に配慮した改良基盤確保

地域において、多様な系統群の確保による改良基盤の強化を推進するため、導入計画に基づき、生産者集団等が雌牛を導入し、農業者等に一定期間貸し付けする場合に奨励金を交付する。

④肉用牛ヘルパー推進

肉用牛の組織的な生産活動を推進し、労働負担の軽減を図るため、肉用牛ヘルパー利用組合等、肉用牛互助組織の活動経費に対し助成する。

⑤肉用牛振興推進指導

肉用牛ヘルパー推進の事業を円滑に実施するための会議の開催、先進事例の調査、肉用牛ヘルパーの実態調査及び推進指導等を行う。

⑥離島等及び山振地域における肉用牛推進

各家畜市場において、島外の購買者に対する購買助成、島外の子牛生産者に対する島外出荷助成および一定条件で子牛を出荷した場合に優良子牛出荷助成を行う。

⑦地域の特色ある肉用牛生産推進指導

離島等及び山振地域における肉用牛推進の事業を円滑に実施するための会議開催、推進指導等を行う。

イ 事業実績

事業名	沖縄県肉用牛経営安定対策補完事業 (ア)肉用牛生産基盤強化対策					合計
	①中核的担い手育成増頭推進	②優良繁殖雌牛導入支援	③遺伝的多様性に配慮した改良基盤確保	④肉用牛ヘルパー推進	⑤肉用牛振興推進指導	
肉用牛集団等						
宮古和牛ヘルパー利用組合				13,928,815		13,928,815
久米島和牛ヘルパー組合				4,159,937		4,159,937
南部肉用牛ヘルパー組合				21,447,282		21,447,282
石垣島肉用牛ヘルパー組合				16,428,598		16,428,598
伊江村肉用牛ヘルパー組合				4,555,063		4,555,063
北部肉用牛ヘルパー利用組合				10,142,675		10,142,675
黒島肉用牛生産組合				2,676,799		2,676,799
沖縄県農業協同組合	1,060,000	0	210,000			1,270,000
沖縄県畜産振興公社					6,154,735	6,154,735
計	1,060,000	0	210,000	73,339,169	6,154,735	80,763,904

(イ) 地域の特色ある肉用牛振興対策

肉用牛集団等	⑥離島等及び山振地域における肉用牛推進			⑦地域の特色ある肉用牛生産推進指導	計
	離島等子牛流通活性化	優良子牛適正出荷推進	子牛流通活性化推進		
沖縄県農業協同組合	234,599,700	16,004,000	0		250,603,700
沖縄県畜産振興公社				2,877,338	2,877,338
計	234,599,700	16,004,000	0	2,877,338	253,481,038

(11) 畜産経営災害総合緊急支援事業 0円

台風等の災害により被災した生産者に対し、経営継続のための畜舎及び機械設備等の補改修等並びに災害等による停電時における家畜の生命維持に要する機器の稼働のための災害用電源確保の整備のための支援を行う。

(12) 畜産経営技術改善指導事業 2,771,000 円

この事業は、畜産経営体の経営・生産技術の高度化を図るため、支援指導体制の確立、専門家による支援指導、畜産経営に必要な関係情報の提供等を行う事業であり、事業の内容並びに実施状況は次のとおりである。

ア. 指導事業

(ア) 畜産コンサルタント団の設置

畜産コンサルタント5人、非常勤畜産コンサルタント4人 計9人

(イ) 個別支援指導

畜産経営体等からの要請内容に応じて畜産コンサルタント団を編成し、畜産農家に対して総合的な経営診断分析を行い、畜産経営技術の高度化を図り、生産性の向上並びに所得の高い安定した経営体を確立するための個別支援・指導を行った。

個別支援指導実績

個別指導内容	畜 種 別				計
	肉用牛	酪 農	養 豚	採卵鶏	
総合診断指導	5 件	1 件	0 件	0 件	6 件
部門診断指導	11 件	0 件	1 件	0 件	12 件
計	16 件	1 件	1 件	0 件	18 件

イ. 事業推進

(ア) 地域支援指導

講習会の開催：2回

開催日時 令和4年12月20日（火）19：00～20：30

開催場所 沖縄県農業協同組合伊江支店 会議室

参加人数 43人

内 容 刈取適期の考え方の再確認
飼料の損失防止を図るための飼槽構造
肉用牛生産について学ぶ
その他

開催日時 令和5年2月9日（木）13：30～16：30

開催場所 宮古農村青少年教育センター 会議室

参加人数 22人

内 容 初心者でも分かる分娩間隔の短縮
現地検討会（バーンミーティング）
その他

(イ) 畜産経営関係情報のホームページによる提供

沖縄県畜産振興公社ホームページにおいて畜産経営情報等提供ページを開設し運用管理を行った。また、中央畜産会が運用管理する畜産情報ネットワーク（LIN）を活用して畜産情報の提供を行った。

(ウ) 会議・研修・その他

①県内地域協議会等への出席：1回

②九州・沖縄ブロック経営診断業務スキルアップ研修会への参加

日時 令和4年7月21～22日 13：30～翌12：00

場所 熊本城ホール3階会議室フロア（中会議室D1-2）

内容 作成資料の説明、診断生産者とのZOOM中継
経営診断報告等

中央畜産会システムの概要及び診断資料等の説明

③資料配布：研修会に参加した農家、コンサル指導対象農家、家畜保健衛生所、農業改良普及課・農業改良普及センター、市町村、農協等の要望に応じて繁殖台帳等を配布

(13) 畜産特別資金等推進指導事業 1,756,260円

畜産特別資金借受者の経営改善を図るため、生産者団体、金融関係団体、畜産指導団体をもって構成する畜産経営改善推進協議会を開催し統一的な指導方針のもとに融資機関に対する指導、並びに借受農家の経営分析等を行って濃密指導を行った。

ア. 畜産特別資金借受戸数及び借受農家指導実績

資金名	借受者戸数	延べ指導件数	うち濃密指導
畜産経営維持緊急支援資金	12戸	12件	2戸
大家畜特別支援資金	1戸	1件	1戸
計	13戸	13件	3戸

イ. 協議会等の開催

(ア) 県推進協議会の開催：1回（13人）

(イ) 専門委員会の開催：2回（延べ20人）

ウ. 借入者の進捗状況調査の実施

畜産特別資金借受者の令和4年12月末借入残高調査を実施した。

畜産特別資金借受者の借入残高調査：1金融機関（13戸）

エ. 経営改善の定期的な実績点検の実施

借受者の経営改善計画の達成度及び問題点の早期把握と改善対応に役立てるため、年2回（6月・12月）の実績点検を実施し、生産技術データや借受者の収入・支出状況の把握に務めた。

大家畜特別支援資金の借受者1戸（上期1戸、下期1戸）

(14) 貸付事業指導等事業 513,454円

畜産近代化リース協会より畜産機械・施設等を借り受けている農家を対象に借り受け機械・施設等の確認及び管理状況の調査を行うとともに適正な利用について技術指導を行った。

ア. 貸付機械施設の確認等に係る調査・技術指導事業

(ア) 貸付事業指導等事業推進会議の開催：1回開催（参加人数7人）

(イ) 調査・指導農家等戸数及び調査件数：25農場等（69施設機械の調査指導）

イ. 新規開拓に係る調査事業

(ア)畜産関係施設貸付事業に関する意見交換会：2回実施（参加人数12人）

(15) 畜産担い手育成総合整備事業実施計画策定調査委託事業 0円

土地条件等からみて、今後とも畜産生産地として安定的な発展が見込まれる地域において、当事業参加予定肉用牛農家を対象にした経営概況の調査を行うとともに飼料基盤の開発整備、農業用施設の整備計画等の策定調査を実施し、畜産担い手育成総合整備事業の実施及び地域の実情に応じた生産性の高い畜産経営の確立に寄与する事業。今年度の実績はなかった。

ア. 肉用牛経営概況調査:肉用牛農家0戸

イ. 経営改善計画の作成:肉用牛農家0戸

内容:①粗飼料生産計画及び飼料給与計画、②肉用牛生産出荷計画、③事業資金計画、④資金借入及び償還計画、⑤経営収支計画、⑥資金運用計画、⑦ふん尿処理計画、⑧施設整備計画、⑨労働時間計画、⑩その他

(16) 家畜防疫互助基金支援事業 1,247,473円

口蹄疫や豚熱、アフリカ豚熱等の伝染病が万一発生した場合、発生農場が経営再開までに必要な経費等を生産者が相互に支援するための仕組みについて、その趣旨、事業の内容等の周知徹底に努め、事業参加者に対し家畜防疫互助金交付契約の締結及び互助金を交付するのに必要な推進業務を実施した。

・家畜防疫互助金の積立実績（令和3～5年度）

ア. 豚互助基金

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計
積立額（円）		21,112,495	0	—	21,112,495
契約農家戸数（戸）		35	0	—	35
契約頭数	繁殖用雌豚（頭）	13,788	0	—	13,788
	繁殖用雄豚（頭）	465	0	—	465
	肥育豚（頭）	142,211	0	—	142,211
	合計（頭）	156,464	0	—	156,464

イ. 牛互助基金

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計
積立額（円）		7,959,615	0	—	7,959,615
契約農家戸数（戸）		944	0	—	944
契約頭数	肉用牛（頭）	38,367	0	—	38,367
	乳用牛（頭）	3,428	0	—	3,428
	合計（頭）	41,795	0	—	41,795

(17) 家畜防疫・衛生指導対策事業 1,529,480 円

家畜伝染病の発生予防、まん延防止等を確実にかつ効率的なものとするため、国家防疫措置に併せて、地域における重要な家畜疾病を対象とした防疫演習、慢性感染症対策、馬伝染性貧血防疫等の自衛防疫活動を推進するとともに、家畜衛生の向上と家畜・畜産物の安全性を確保する上で重要なツールである農場HACCP認証に必要な農場での構築指導、認証取得の導入促進となる推進農場の構築手順の提供等、家畜衛生対策を総合的に実施した。

ア. 地域自衛防疫推進事業（沖縄県獣医師会へ委託）

口蹄疫、豚熱、高病原性鳥インフルエンザ等の発生時の迅速かつ的確な防疫措置が実施できるよう、生産者段階での初動防疫体制の充実・強化を図るため、家畜保健衛生所等関係機関の協力のもと防疫演習を実施した。

（ア）地域自衛防疫取組促進

①開催日時及び内容

令和4年5月 防疫演習計画

令和4年12月 防疫演習取組状況確認・予算調整

（イ）地域自衛防疫活動推進

①開催日及び場所

令和4年9月、10月 中央家畜保健衛生所（八重瀬町）

令和4年12月、令和5年1月 八重山家畜保健衛生所（石垣市）

令和4年12月 宮古家畜市場（宮古島市）

②内容

特定家畜伝染病発生時における防疫実働演習（消毒・資材搬出）

口蹄疫に関する防疫処置、盛土方式による埋却

宮古地域における関係機関との防疫体制強化

イ. 地域農場HACCP認証支援事業

（ア）農場HACCP認証構築指導推進事業

①構築指導事業

都道府県における、農場認証に取り組む農場を対象に農場で構築指導を実施するとともに、既認証農場に対して内部検証等のフォローアップを行った。（1戸・11回）

ウ. 地域推進事務

事業を円滑に実施するため、関係機関や団体等との連絡調整の推進事務を行った。

(18) 畜産クラスター全国推進事業に係る全国実態調査 80,000円

畜産クラスターに係る取組を全国で推進するために必要な情報として、全国の先進的な経営体等を対象に経営内容に係る調査・取りまとめを行った。

①調査戸数 酪農1戸

②調査内容 経営の概要、当期生産費用と損益、投資・負担の概要
生産技術、管理技術の概要等

(19) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 3,606,184円

畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業のうち機械導入事業について、その円滑な実施を図るため、下記に掲げる事業の推進業務、事業参加要望書の取りまとめ

業務などの推進業務を実施した。

- ① 県内における事業の推進業務（事業説明会等）

事業説明会 2 回開催 参加人数 計 77 人

- ② 県内における事業参加要望書取りまとめ業務

年度	件数	要望金額計	補助金額計
令和4年度	98件	311,455,074円	155,727,535円
令和5年度 (第1回)	45件	174,969,400円	87,484,700円

- ③ 県内における事業参加申請書取りまとめ業務（令和4年度）

取組主体数 77件

- ④ 県内における実績報告書取りまとめ業務（平成元年度～令和3年度分）

取組主体数 70件

事業費計	補助金額計
175,027,847円	87,513,923円

- ⑤ 県との協議に係る窓口業務 8 協議会

- ⑥ 県内における事業の執行に係る連絡・調整、データ整理及び調査業務

- ⑦ その他（全国会議への出席等）

※(注)補助金は中央畜産会より交付されています。

(20) 獣医師養成確保修学資金給付事業 3,360,000円

沖縄県内の産業動物に携わる獣医を安定的に確保するため、産業動物獣医師への就業を志す獣医修学生を対象に修学資金を給付する事業。令和4年度は、沖縄県農業共済組合に就業する予定である獣医修学生2名に対し、修学資金の給付を実施した。

(21) 産業動物獣医師確保修学資金給付事業 333,261円

獣医師養成確保修学資金給付事業を円滑に行うための推進事業

(22) 県産肥育牛ブランド力強化事業 11,393,200円（沖縄県、公社）

県内の肉用牛肥育農家戸数及び飼養頭数は、平成21年度以降減少傾向にある。要因として、肉用子牛価格の高騰がある。本事業では、肥育農家に対し、優良な肥育素牛の活用による能力向上を支援するとともに、肥育技術研修、市場調査等により県産牛ブランド力を強化し肥育経営の安定化を図るため、肥育素牛導入に要する経費の一部補助を実施した。

事業費負担（公社 5,696,600円、県 5,696,600円）

	戸数 (戸)	頭数 (頭)	奨励金単価 (頭/円)	交付額 (円)
県産肥育牛ブランド力強化事業	10	376	30,000	11,280,000
JA事務委託費		283	400	113,200
事業費合計				11,393,200

(23) 畜産経営体生産性向上対策事業（ICT等機械装置等導入事業）

16,866円

畜産経営体生産性向上緊急対策事業（ICT化等機械装置等導入事業）について、事業実施手続等の効率化及び事業実施体制の強化を図るため、下記に掲げる業務を実施した。

- ① 県内における普及推進業務（事業周知及び調整等）
- ② 県内における事業推進指導・内容確認業務

【参考】令和4年度 事業参加楽酪会議数：0

(24) 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（労働負担軽減事業）

14,409円

酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業について、その事業実施手続等の効率化及び事業実施体制の強化を図るため、下記に掲げる業務を実施した。

- ① 県内における普及推進業務（事業周知及び調整等）
- ② 県内における事業推進指導・内容確認業務

【参考】令和4年度 事業参加楽酪会議数：0

(25) 地域畜産支援指導等体制強化事業 2,500,000円

生産者等から経営、技術、制度、資金等、各種相談に応じるため、畜産コンサルタント、畜産クラスターコーディネーター、農場HACCP指導員、JGAP審査員等の専門家を活用した畜産経営窓口を設置し、指導・相談業務を実施した。

- ① 経営指導のため専門家による指導・助言（3名・15回）
- ② 畜産関係団体調整機能強化のための旅費等（宮古・与那国）
- ③ 関係機関及び団体等との相談業務

(26) アグー豚増頭振興支援事業 0円

アグー種豚群を維持し、アグーの保全およびブランド振興を図るため、久米島で増殖したアグー種豚の普及のため、必要な経費の一部を負担する。

(27) 生産基盤拡大加速化事業 2,916,820円

輸出の拡大に向けて和牛の増産を推進するため、畜産クラスター計画に基づき、輸出に適した和牛肉の増産を図るため、優良な繁殖雌牛の増頭実績に応じた奨励金を交付する事業の推進、事業参加要望書及び実績の取りまとめ等の業務を実施した。

- ・ 協議会数 : 8 協議会
- ・ 事業参加戸数 : 280 戸
- ・ 奨励金対象牛 : 350 頭（17.5万円：95頭、24.6万円：255頭）
- ・ 奨励金総額 : 79,355,000円

(28) 優良肉用子牛生産推進緊急対策事業 69,301,203円

(※令和5年1月より和子牛生産者臨時経営支援事業へ移行)

新型コロナウイルス感染症の影響による枝肉価格の下落に伴い、肉用牛生産基盤の弱体化が懸念されることから、肉用子牛の飼養頭数を維持することを目的として経営改善を図る肉用子牛生産者に対し、全国家畜市場における肉用子牛の取引価格の平均価格が発動基準価格を下回った場合に、奨励金の交付を実施する事業である。

・令和4年度交付実績(※奨励金分)

区分	人数	頭数	奨励金 単価	奨励金 交付額
経営改善推進対策	1,516	3,379	10,000	33,790,000
和子牛産地強化推進対策	1,484	3,333	10,000	33,330,000

(29) 和子牛生産者臨時経営支援事業 446,400円

市場等で取引される和子牛のブロック別平均価格(四半期別)が、発動基準を下回った場合に、事業に参加している和子牛生産者に対し、肉用子牛生産者補給金制度に登録を行った販売頭数に応じて支援交付金を交付する事業である。

今年度は、事業参加申込に係る事務委託先への委託費のみ。

5. その他畜産の振興及び指導に関する補完事業

(1) 畜産振興補助事業 12,088,000円

国、県等の畜産振興諸施策を円滑に推進するため、各種事業を実施し、地域畜産に対する支援指導体制の強化及び畜産経営技術の高度化、地域畜産に対する消費者等への理解増進及び地域畜産の活性化、馬事・畜産の普及啓発を図った。

- ① 畜産経営の支援体制の強化を図る事業
- ② 地域畜産の活性化、安全かつ安全な食の提供に資するための事業
- ③ 馬事畜産普及啓発の推進体制の強化を図る事業

(2) 馬事畜産振興協議会への協力

沖縄県馬事畜産振興協議会へ協力し、佐賀競馬で馬事畜産の普及啓発を行った。

ア. 冠競走の実施

第5回佐賀オータムスプリント競走、優勝馬主へ副賞(県産畜産物)を授与。

イ. 法人協賛特別競走の実施

「第5回沖縄まーさん杯、第6回沖縄まーさん杯」の2レース実施し、優勝馬主へ副賞(県産畜産物)を授与し、馬事畜産の普及啓発を行った。

ウ. 佐賀県馬事畜産振興協議会主催「ウェブde畜産フェア2022」の実施
畜産フェアの賞品(沖縄県産の畜産物)の提供。

エ. 馬事畜産振興協議会主催「地方競馬ミルウィーク2023」の実施

① 佐賀競馬場にて、牛乳消費促進普及活動として牛乳の配布を行った。

② 冠レース(ちばりよー沖縄酪農応援賞)で優勝関係者(馬主・厩務員・調教師・騎手)へ副賞(沖縄県産乳製品)を授与し、馬事畜産の普及啓発を行った。

オ. 沖縄県畜産共進会会場にて「地方競馬振興のためのPR資料」を配布

6. 収益事業 14,294,091円

(1) 沖縄畜産振興支援センター運営事業

- ・ 支援センターの事務所賃貸:11,992,800円
- ・ 支援センターの会議室賃貸:1,331,055円
- ・ 楽天モバイルアンテナ設置:954,360円

(2) 図書販売受託事業

- ・ 中央畜産会が発刊する畜産関係図書の販売:15,876円

令和4年度事業費（実績）

（単位：千円）

事業名	実績額	
1. 家畜・畜産物の価格安定事業	152,658	
(1) 肉用子牛生産者補給金制度	27,222	
1) 肉用子牛生産者補給交付金交付	0	子牛価格が下落した場合、生産者に補給金を交付
2) 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業	27,222	肉用子牛生産者補給金制度の適正かつ円滑な実施体制の確保を図るための事業
(2) 沖縄県和牛子牛価格安定特別対策事業	0	雌子牛価格が下落した場合、生産者に補てん金を交付
(3) 肉用牛肥育経営安定交付金制度	6,664	
1) 肥育牛補填金	683	肥育牛の粗収益が生産費を下回った場合、生産者へ補てん金を交付する
2) 推進指導事務費	5,981	肉用牛肥育経営安定対策事業の円滑な推進を図るための事業
(4) 養豚経営安定交付金制度	118,772	農畜産業振興機構が実施する養豚経営安定交付金制度への積立金納付業務
2. 家畜・畜産物の改良及び需給調整事業	31,879	
(5) 県産農林水産物輸出体制構築事業	10,768	県産農林水産物の安定的な輸出体制構築のため、定番化プロモーション、ブランディング強化、輸出産地支援等を実施する事業
(6) 家畜改良促進事業	3,500	
1) 全国畜産共進会協議会負担金	2,000	全国和牛能力共進会への出展のための協議会への負担金
2) 沖縄県畜産共進会協議会負担金	1,500	沖縄県畜産共進会開催のための協議会への負担金
(7) 畜産物需給総合調整事業	17,611	
1) 県産食肉等消費促進対策事業	14,751	県産食肉等の消費促進活動を実施するのに要する経費に対する助成と、公社が行う販売促進事業
2) 沖縄県農林水産物販売促進協議会等負担金	2,860	県産畜産物の消費拡大を図るための県販売促進協議会等への負担金
3. 地域・畜産産業振興総合対策に関する公社事業	5,234	
(8) 離島地域畜産活性化整備事業フォローアップ事業	936	沖縄食肉価格安定等特別対策事業において整備した食肉センターの経営改善の取り組みについて、市町村・JA・地域関係機関を連携した支援を行う事業
(9) 地域・畜産産業振興施策スタートアップ事業	4,298	地域・畜種毎の課題解決に向けた新たな取り組みについて、市町村・JA・地域関係機関を連携した支援を行う事業
1) 畜産活性化対策	3,065	
2) 畜産振興対策	0	
3) 販売流通促進対策	1,233	
4. 畜産経営体の経営安定、生産技術の向上及び家畜防疫に関する事業	436,025	
(10) 沖縄県肉用牛経営安定対策補完事業	334,244	子牛の域外販売の促進、組織的な生産活動の推進等（ヘルパー活動）を図り、肉用牛の振興に資する事業
(11) 畜産経営災害総合緊急支援事業	0	災害等による停電時における家畜の生命維持に要する機械の稼働のための非常用電源の整備の整備に係る支援
(12) 畜産経営技術改善指導事業	2,771	畜産経営体の経営診断分析を行い、経営及び生産技術の高度化を図るための支援指導事業
(13) 畜産特別資金等推進指導事業	1,756	畜産特別資金等の借受者に対する経営改善の促進の指導等
(14) 貸付事業指導等事業	513	畜産近代化リース借受施設機械等の確認及び管理状況調査指導事業
(15) 畜産担い手育成総合整備事業実施計画策定調査委託事業	0	畜産担い手育成総合整備事業を実施するための飼料基盤の開発整備、事業計画を策定する事業
(16) 家畜防疫互助基金支援事業	1,247	家畜伝染病発生時の互助事業の普及・啓発を図る事業
(17) 家畜防疫・衛生指導対策事業	1,529	家畜伝染病の発生予防・まん延防止のため、防疫演習などの自衛防疫活動の推進と農場HACCP認証の普及を図る事業
(18) 畜産クラスター全国推進事業に係る全国実態調査	80	全国の先進的な経営体等を対象に経営内容に係る調査・取りまとめ業務
(19) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）	3,606	畜産クラスター関連事業のうち機械導入事業の円滑な実施を図るための推進業務
(20) 獣医師養成確保修学資金給付事業	3,360	県内の産業動物に携わる獣医を安定的に確保するため、産業動物獣医師を志す獣医学生へ修学資金を給付する事業
(21) 産業動物獣医師確保修学資金給付事業	333	獣医師養成確保修学資金給付事業の円滑な推進を図るための事業
(22) 県産肥育牛ブランド力強化事業	11,393	県内肥育農家の経営基盤強化及び県産牛肉の安定供給を図るため、肥育素牛導入の経費を一部助成する。

事業名	実績額	
(23) 畜産経営体生産性向上緊急対策事業	16	酪農経営体の労働負担軽減に資する機械装置導入事業の効率化及び実施体制の強化を図る業務
(24) 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業	14	酪農家の労働力省力化推進に係る施設・機械装置整備事業の効率化及び実施体制の強化を図る業務
(25) 地域畜産支援指導等体制強化事業	2,500	畜産を取り巻く厳しい環境に対処するため、関係団体による地域の特性や地域の畜産の実態に即した連携及び活性化のための活動についての助成。
(26) アグー豚増頭振興支援事業	0	豚熱等の感染から守るため、県内離島へ避難させたアグーブランド豚の増頭振興を図るための必要な経費の一部について支援金を交付する。
(27) 生産基盤拡大加速化事業	2,916	輸出の拡大に向けて、畜産クラスター計画に基づき、優良な繁殖雌牛の増頭実績に応じた奨励金を交付する事業の取りまとめ及び推進を図る事業
(28) 優良肉用子牛生産推進緊急対策事業	69,301	黒毛和種子牛価格の下落による肉用牛生産基盤の弱体化を懸念し、発動基準価格を下回った場合、経営改善および和子牛産地強化計画に取り組む生産者に対し奨励金を交付する。
(29) 和子牛生産者臨時経営支援事業	446	新型コロナウイルス感染症拡大で子牛価格が発動基準価格を下回った場合、飼養頭数維持のため経営改善を図る生産者に対し奨励金の交付を実施する事業。（令和5年1月事業開始）
総合計	625,796	
うち公社負担事業費	(48,382)	

2 主な処理事項

年 月 日	処 理 事 項
令和4年4月1日	令和4年度第1回理事会（決議の省略） 審議事項 1 理事長の選定について 2 専務理事の選定について 3 事務局長の選定について
令和4年5月26日	令和3年度決算監査
令和4年6月7日	令和4年度第2回理事会 審議事項 1 令和3年度事業報告及び決算報告の承認について 2 公益財団法人沖縄県畜産振興公社業務方法書（肉用牛肥育経営安定交付金制度）の一部改正について 3 令和4年定時評議員会の開催について
令和4年6月30日	令和4年度定時評議員会 審議事項 1 令和3年度決算報告の承認について 2 法人会計から公益目的事業会計への振替額（他会計振替）の承認について
令和4年8月12日	令和4年度第3回理事会（決議の省略） 審議事項 1 理事の補欠選任候補者の推薦について 2 監事の補欠選任候補者の推薦について 3 令和4年度第1回臨時評議員会への提案について
令和4年8月26日	令和4年度第1回臨時評議員会（決議の省略） 審議事項 1 評議員の選任について 2 理事の選任について 3 監事の選任について
令和4年10月26日 ～10月31日	第48回沖縄県畜産共進会 枝肉部門開催
令和4年11月8日	第48回沖縄県畜産共進会 種畜部門開催

年 月 日	処 理 事 項
令和4年11月29日	「うちな〜いい肉の日」消費拡大街頭イベント (WEB 特設サイトにて県産畜産物の特別販売会)
令和5年1月21日 ～1月22日	おきなわ花と食のフェスティバル (まーさん市場開催) 奥武山総合運動公園
令和5年2月6日	令和4年度第4回理事会 (決議の省略) 審議事項 1 令和4年度事業計画の変更について 2 令和4年度第1次収支予算の補正について
令和5年3月22日	令和4年度第5回理事会 審議事項 1 公益財団法人沖縄県畜産振興公社 文書取扱規程の一部改正について 2 沖縄県和牛子牛価格安定特別対策事業に係る保証基準価格及び補てん積立金の額の決定について 3 令和5年度事業計画及び収支予算の承認について 4 理事・監事の選任候補者の推薦について 5 令和4年度第2回臨時評議員会への提案について (決議の省略)
令和5年3月29日	令和4年度第2回臨時評議員会 (決議の省略) 審議事項 1 評議員の選任について 2 理事の選任について 1 監事の選任について

3 役員の名簿

令和5年3月31日現在

評議員

氏名	所属先役職名
崎原盛光	沖縄県農林水産部 部長
工藤俊一	沖縄県農業共済組合 組合長理事
當銘真栄	糸満市長
久田浩也	今帰仁村長
普天間朝重	沖縄県農業協同組合中央会 会長
與那覇信子	沖縄県婦人連合会 会長

理事及び監事

公社役職名	氏名	所属先役職名
理事長	仲村 敏	沖縄県農林水産部 参事監
専務理事	比嘉 貢	沖縄県農林水産部 参事
理事	屋宜 宣由 古謝 景春 新垣 安弘 前田 典男 神谷 翔平 諸見 里元 川越 雄一郎	沖縄県農業振興公社 理事長 南城市長 八重瀬町長 沖縄県農業協同組合 代表理事理事長 沖縄県酪農農業協同組合 組合長 沖縄県養鶏農業協同組合 組合長 生活協同組合コープおきなわ 理事長
監事	川満 博幸 玉城 和巳	沖縄県農業共済組合 常務理事 沖縄県農業協同組合 常務理事